

ライブで伝える医療と教育の大切さ



職員がステージ登壇 医療と健康の取り組みを発信

9月13日(土)、池袋サンシャインシティ噴水広場で開催されたチャリティーライブ「Remember Girl's Power!!2025」に、学校法人山口学園がアカデミア共催として参加しました。

このイベントは、小児がんやがん世代(15〜39歳)のがん、さらに臨床試験(治験)についての理解を広めることを目的として、がん情報サイト「オンコロ」と豊島区が共同で主催したものです。会場には多くの来場者が訪れ、ライブを楽しみながら健康について関心を寄せる姿が見られました。

当園では、子どもたちの健やかな成長を支える教育機関として、医療分野にも積極的に取り組んでいます。医療アドバイザーの導入や、園児を対象とした「メディカルタイム」の実施などを通じて、教育と医療の両面から子どもたちの成長を支援しています。

ひばり新聞



号外

発行月

9月



当日は学園職員がステージに登壇し、日頃から取り組んでいる医療や健康に関する活動を紹介しました。教育現場に医療の視点を取り入れている事例が発表されると、会場からは大きな関心が寄せられました。

続いて、司会を務めた笠井信輔氏らとのクロスセッションが行われ、子どもたちの健やかな成長を支えるうえで医療と教育を結びつける意義について意見を交わしました。さらに、現地には応援に駆けつけた先生たちの元気いっぱいな姿もあり、会場を明るく盛り上げていました。

日頃の保育現場そのままのエネルギーと温かさが伝わり、学園の取り組みをより身近に感じてもらえるひとときとなりました。

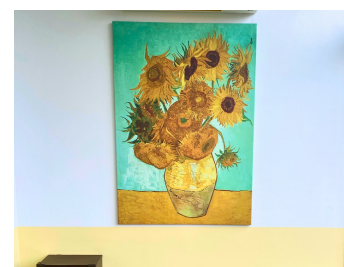
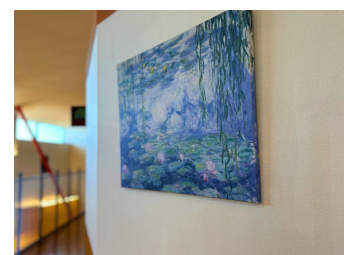
芸術の秋、園内に絵画を展示



ひばり幼稚園では、この秋、園内に新たに絵画を展示しました。芸術の秋にふさわしく、子どもたちが日常の中で芸術に親しみ、豊かな感性を育むことを目的としています。

展示された絵画は「ひまわり」「睡蓮」など色彩豊かで、登園した子どもたちが思わず足を止めて見入る姿が見られました。美術館で見られるような名画が身近にあることで、園内はまるで小さな美術館のような雰囲気になりました。

「おはながきれい!」「この絵見たことあるよ」といった声もあがり、友だちと絵の中に新しい発見をする様子が広がっています。絵の前で会話が生まれることで、子どもたちが想像力を膨らませたり、感情を言葉にする練習にもつながっています。子どもたちにとって芸術は難しいものではなく、自由に見て感じ、想像を広げるきっかけになります。芸術と出会う体験を通して、自分なりの見方を大切にすることを育てたいと思います。



今月のお知らせ

ライブ出演の記事も掲載

Remember Girl's Power!!に出演の様子はInstagramでも公開中！
その他にも医療・健康への取り組みも紹介しておりますのでぜひご覧ください！



@HIBARI_KINDERGARTEN

いざという時に備える救急救命講習



ひばり幼稚園では、子どもたちが安心して園生活を送れる環境づくりを目的に、川越地区消防局の協力を得て職員を対象とした「救急救命講習」を行いました。

講習では、応急手当の方法や小児・乳児に対応した心肺蘇生法、AEDの正しい使用方法について学びました。人形を使った実技も取り入れられ、職員は一つひとつの手法を丁寧に確認しながら真剣に取り組んでいました。特に小児や乳児への対応は、一般的な救命法と異なる点もあり、参加した職員からは「実際に体験しながら学べてとても分かりやすかった」との声も聞かれました。

園では「いざという時に迅速かつ適切に対応できることが、子どもたちの命を守ることにつながる」としています。今回の講習で得た知識と技術を日々の保育に活かし、職員全員が安全意識を高めながら子どもたちを見守ってまいります。